

# 令和2年度 決算のあらまし



新型コロナウイルスワクチン接種



Withコロナ新観光プロジェクト



中央町19・20番街区市街地再開発

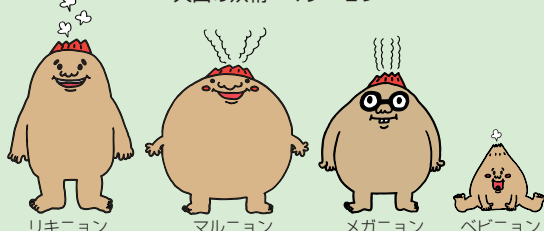


I C T環境整備

## 目 次

- 2年度の主な事業実績・・・・・・・・・・P 1
- 2年度決算の状況・・・・・・・・・・P 3
- 一般会計決算額の内訳・・・・・・・・・・P 4
- 健全化判断比率と資金不足比率・・・・・・P 7

マグマシティ PR キャラクター  
火山の妖精 マグニョン



あなたとわくわく



マグマシティ  
鹿児島市

# 令和2年度の主な事業実績

「市民が主役の鹿児島市の実現」に向け、次の7つの基本政策の推進に重点的に取り組みました。

## 1 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち

### ①With コロナ新観光プロジェクト事業

〔139,580 千円〕

コロナ禍における新たな視点での観光プロジェクトを各面から展開し、当面の観光振興を図るとともに、コロナ収束後の需要回復を見据えた観光メニューの充実につなげました。

### ②平川動物公園施設改修事業

〔230,773 千円〕

コアラ舎の改修を行ったほか、動物の健康管理等に必要な医療機器の更新を行いました。



### ③県外観光客宿泊キャンペーン事業

〔58,120 千円〕

本市の観光の早期回復につなげるため、市内宿泊施設で宿泊の割引を受けられるクーポンを市独自に発行しました。

### ④鹿児島中央駅東口駅前広場観光案内所設置事業

〔40,963 千円〕

鹿児島中央駅周辺の回遊性を高めるとともに、観光客のさらなる受入体制の充実を図るため、常設の観光案内所を設置しました。



このほかにも、次の事業を行いました。

- 宿泊施設等新型コロナ対策支援事業
- 修学旅行誘致事業
- 磯新駅設置促進事業
- 世界遺産保全・活用事業
- MICE推進事業
- サッカー等スタジアム整備検討事業
- 鹿児島ユナイテッドFCトレーニング施設整備等支援事業
- 国際交流センター管理運営事業
- など

## 2 健やかに暮らせる安全で安心なまち

### ①新型コロナウイルスワクチン接種事業

〔115,432 千円〕

新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図るため、接種体制の確保を行い、医療従事者等を対象にワクチン接種を順次進めました。

### ②保育士宿舍借り上げ支援事業

〔私立保育所等補助金〕〔9,807 千円〕

保育士の就業継続支援として、法人等が保育士のために宿舍を借り上げた経費に対して助成しました。

### ③感染症予防医療事業〔199,084 千円〕

新型コロナウイルス感染症から市民のいのちを守り、安心して日常生活を送ることができるよう、疫学調査やPCR検査を進めました。

### ④防災ラジオ導入事業〔32,621 千円〕

災害時に、より多くの市民に避難情報等を迅速かつ確実に伝達するため、緊急放送を自動受信する防災ラジオを希望者に有償で提供しました。



このほかにも、次の事業を行いました。

- 子育て世帯への臨時特別給付金
- ひとり親世帯への臨時特別給付金
- 保育所等感染予防対策充実事業
- 障害福祉サービス事業所等感染症対策支援事業
- 放課後児童健全育成事業
- 児童相談所設置検討事業
- 火山防災トップシティ推進事業
- など

## 3 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち

### ①ゼロカーボンシティかごしまPR事業

〔7,248 千円〕

「ゼロカーボンシティかごしま」の実現に向けて、市域全体の機運向上を図るために、情報発信を行うとともに、事業者等と連携した取組を行いました。

### ②太陽光 de ゼロカーボン促進事業

〔58,631 千円〕

太陽光発電システムの設置を行う事業者等や同システムとホーム・エネルギー・マネジメント・システム（HEMS）の併置などを行う市民等に対して助成しました。

### ③庁舎電力100%再生可能エネルギー化事業

〔5,143 千円〕

市域での再生可能エネルギーの利用拡大に向け、市役所本庁舎で使用する電力を再生可能エネルギー由来の電力に切り替えました。

### ④加治屋まちの杜公園

整備事業〔270,855 千円〕

中心市街地の回遊性の向上に資する、新たな潤いの拠点として整備し、供用を開始しました。



このほかにも、次の事業を行いました。

- かごしま環境未来館蓄電池設置事業
- 新南部清掃工場（ごみ焼却施設・バイオガス施設）整備・運営事業
- コミュニティサイクル運営事業
- 気候変動アクションかごしま創出事業
- 剪定枝資源化事業
- 武岡公園整備事業
- 水辺環境魅力再発見事業
- など

## 4 地域産業で若者や女性が活躍できるまち

### ①特別定額給付金事業〔60,522,949 千円〕

国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」の趣旨を踏まえ、迅速かつ的確に家計への支援を行うため、特別定額給付金を給付しました。

### ②EC サイト・ホームページ導入等支援事業〔199,692 千円〕

中小企業者等の販路拡大やサービス、店舗のPRを図るため、EC サイト・ホームページの導入等を支援しました。

### ③事業継続支援金事業〔1,909,810 千円〕

新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した中小企業者等の事業継続の下支えを図るため、事業全般に使える支援金を給付しました。

### ④農業技術伝承事業〔1,041 千円〕

都市農業センターにおいて、ICTを活用し野菜栽培技術のデータ化を行い、新規就農者等へ伝承していく仕組みづくりに取り組みました。



このほかにも、次の事業を行いました。

○雇用維持支援金事業    ○家賃支援金事業    ○プレミアム付商品券発行支援事業  
○ベンチャー型事業承継推進事業    ○次世代農業担い手サポート事業    など

## 5 学ぶよろこびが広がる誇りあるまち

### ①ICT 環境整備 (GIGA スクール) 事業〔2,355,508 千円〕

小・中・高等学校に高速大容量の校内通信ネットワークを整備したほか、小・中学校の児童生徒が使用するタブレット端末等の整備を行いました。

### ②学校トイレ洋式化事業〔800,945 千円〕

快適な教育環境整備のため、学校のトイレ洋式化を推進しました。

### ③パークゴルフ場整備事業 (関連整備含む)〔282,365 千円〕

パークゴルフ場の管理棟の新築工事や貸出用クラブ等の必要備品の購入のほか、関連する整備等を行い、供用を開始しました。



このほかにも、次の事業を行いました。

○感染症対策・学習保障等対策事業    ○スクール・サポート・スタッフ配置事業  
○学校臨時休業に係る給食関係事業者支援事業    ○鹿児島市スポーツ振興協会設立運営事業    など

## 6 市民生活を支える機能性の高い快適なまち

### ①中央町 19・20 番街区市街地再開発事業〔2,204,782 千円〕

### ②千日町 1・4 番街区市街地再開発事業〔1,860,332 千円〕

### ③中央町 19・20 番街区再開発ビル保留床取得支援事業〔1,000,000 千円〕

再開発組合が行う再開発ビルの本体工事等に対し助成するとともに、民間事業者による中央町 19・20 番街区再開発ビルの保留床取得に対し、地域総合整備資金貸付制度を活用した貸付けを行いました。

### ④天文館図書館整備事業〔379,779 千円〕

天文館図書館の床取得を行うとともに、什器の実施設計等を行いました。



### ⑤団地再生推進事業〔9,106 千円〕

住宅団地の活性化に向けた基本的な考え方や取組の方向性などを取りまとめた「かごしま団地みらい創造プラン」を策定しました。

このほかにも、次の事業を行いました。

○「若き薩摩の群像」整備事業    ○鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業    ○土地区画整理事業の推進  
○市営住宅建設事業    ○都市公園建設事業    ○公共交通不便地対策事業    など

## 7 市民と行政が拓く協働と連携のまち

### ①新型コロナ対策に係る地域活動・市民活動支援セット配付事業〔10,880 千円〕

新型コロナウイルス感染症への対策として、町内会やNPO 法人等に感染対策用品の配付を行いました。

### ②LINE でつながる市政情報配信事業〔5,108 千円〕

市民により親しみやすい情報を発信するため、幅広い世代が利用しているLINEを活用して、一人ひとりのニーズに合わせた市政情報の配信などを行いました。



### ③鹿児島市ブランドメッセージ浸透拡散事業～通称 マグマシティ計画～〔18,525 千円〕

本市のブランドメッセージやキャラクターを用いて、都市ブランドの育成やシビックプライドの醸成を図るブランディングキャンペーン等を展開しました。

### ④キャッシュレス決済導入事業〔8,979 千円〕

新型コロナウイルス感染症対策等の一環として、市民が現金に触れず、かつ支払い時間を短縮するため、手数料等収納件数の多い窓口へのキャッシュレス決済導入に取り組みました。

このほかにも、次の事業を行いました。

○さくらじま地域おこし協力隊活動事業    ○次期総合計画策定事業    ○個人番号カード交付事業  
○コンビニ納付、モバイル決済サービス事業    ○まちづくり人材育成連携事業    など



# 令和 2 年度 決算の状況

| 区 分  | 歳入 (A)           | 歳出 (B)           | 形式収支<br>(C=A-B) | 翌年度<br>繰越財源 (D) | 実質収支<br>(C-D) |
|------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 一般会計 | 3,524 億 1,852 万円 | 3,466 億 7,247 万円 | 57 億 4,605 万円   | 13 億 6,815 万円   | 43 億 7,790 万円 |

| 区 分            | 歳入 (A)         | 歳出 (B)           | 形式収支<br>(C=A-B) | 翌年度<br>繰越財源 (D) | 実質収支<br>(C-D)  |
|----------------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|----------------|
| 特別会計           | 1,321 億 465 万円 | 1,345 億 5,714 万円 | △24 億 5,249 万円  | 10 万円           | △24 億 5,259 万円 |
| 土地区画整理事業清算     | 777 万円         | 326 万円           | 451 万円          | 0               | 451 万円         |
| 中央卸売市場         | 35 億 6,392 万円  | 31 億 8,389 万円    | 3 億 8,003 万円    | 10 万円           | 3 億 7,993 万円   |
| 地域下水道事業        | 7,831 万円       | 6,618 万円         | 1,213 万円        | 0               | 1,213 万円       |
| 桜島観光施設         | 1 億 6,518 万円   | 1 億 6,518 万円     | 0               | 0               | 0              |
| 国民健康保険事業       | 652 億 2,709 万円 | 690 億 4,923 万円   | △38 億 2,214 万円  | 0               | △38 億 2,214 万円 |
| 介護保険           | 543 億 9,699 万円 | 536 億 518 万円     | 7 億 9,181 万円    | 0               | 7 億 9,181 万円   |
| 後期高齢者医療        | 85 億 1,422 万円  | 84 億 4,751 万円    | 6,671 万円        | 0               | 6,671 万円       |
| 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 | 1 億 5,117 万円   | 3,671 万円         | 1 億 1,446 万円    | 0               | 1 億 1,446 万円   |

| 区 分     | 収入 (A)         | 支出 (B)         | 差引 (A-B)       |
|---------|----------------|----------------|----------------|
| 企業会計    | 484 億 3,593 万円 | 495 億 6,978 万円 | △11 億 3,385 万円 |
| 病院事業    | 225 億 2,953 万円 | 234 億 5,377 万円 | △9 億 2,424 万円  |
| 交通事業    | 34 億 4,009 万円  | 43 億 3,704 万円  | △8 億 9,695 万円  |
| 水道事業    | 102 億 8,475 万円 | 94 億 5,739 万円  | 8 億 2,736 万円   |
| 工業用水道事業 | 846 万円         | 576 万円         | 270 万円         |
| 公共下水道事業 | 102 億 2,545 万円 | 97 億 2,500 万円  | 5 億 45 万円      |
| 船舶事業    | 19 億 4,765 万円  | 25 億 9,082 万円  | △6 億 4,317 万円  |

※ 企業会計は収益的収支を税抜き額で表示しています。

## 【ポイント】

一般会計は、歳入額から歳出額を差し引いた額（形式収支額）は 57 億円ですが、ここから翌年度で支払わなければならない繰越財源 13 億円を引いた額（実質収支額）は、44 億円となり、前年度に引き続き黒字を確保しました。

特別会計は、国民健康保険事業特別会計において 38 億円の赤字となりましたが、令和 3 年度からの繰上充用で対応しました。また、その他の特別会計は黒字又は収支均衡となりました。

企業会計は、病院事業、交通事業、船舶事業において赤字となりましたが、その他の事業は黒字を確保しました。

## 一般会計

市の会計の基本であり、福祉、医療、教育や道路・公園の整備など基本的な行政サービスを行う会計です。主な収入は、市税や国・県支出金などです。

## 特別会計

特定目的のための会計で、国民健康保険税や介護保険料など特定収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を管理する会計です。  
〔2年度 8会計〕

## 企業会計

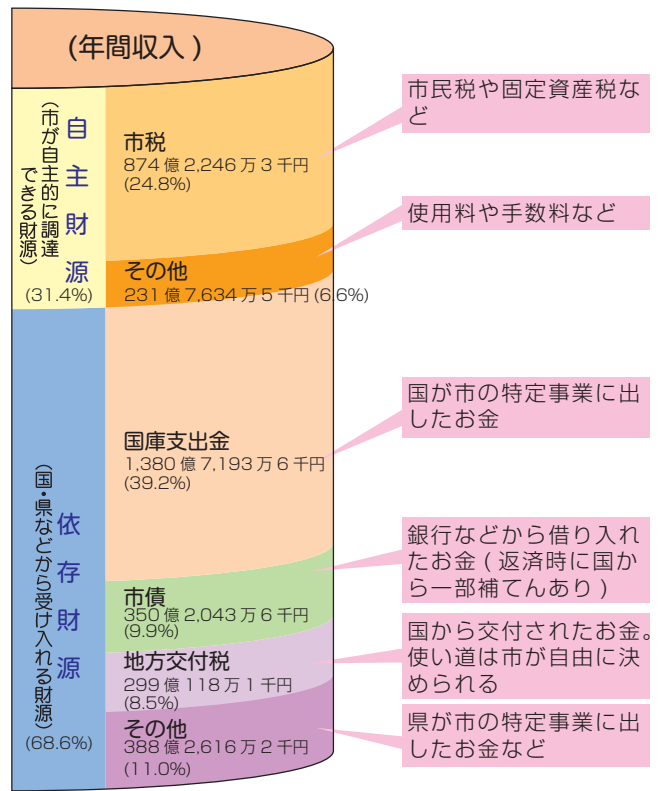
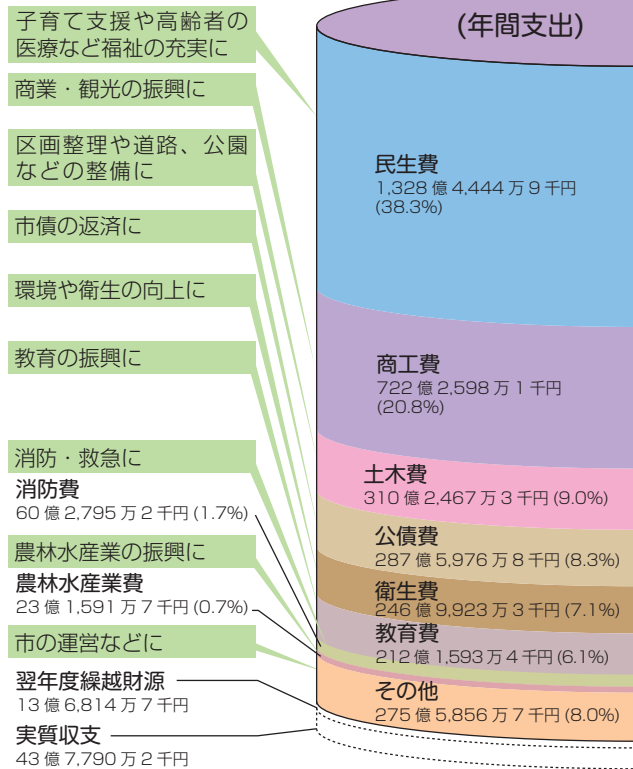
地方公営企業（市立病院、交通局、水道局、船舶局）の会計で、民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営する会計です。  
〔2年度 6会計〕

# 一般会計決算額の内訳

歳入：国庫支出金が増加  
歳出：民生費が増加

歳出  
3,466 億 7,247 万 4 千円

歳入  
3,524 億 1,852 万 3 千円



## 【歳出のポイント】

歳出総額は、3,467 億円で、前年度比 815 億円 (30.7%) の増となりました。

歳出で最も多いのは、社会保障関係経費である子育て支援や生活保護費などに使われる民生費の 1,328 億円で、前年度と比較し、47 億円 (3.6%) の増となりました。民生費の一般会計全体に占める割合は 38.3% になりました。また、特別定額給付金事業により、商工費の割合が大きくなっています。

## 【歳入のポイント】

歳入総額は、3,524 億円で、前年度比 810 億円 (29.8%) の増となりました。

歳入で最も多いのは国庫支出金の 1,381 億円で、特別定額給付金事業に係るものなどにより、前年度と比較し、785 億円の増となりました。一方、市税が 14 億円の減となりました。

# 市民 1 人当たりの使い道は？

1 人当たり約 57 万 7 千円のうち、福祉の充実に約 22 万 1 千円

一般会計の歳出決算額 3,467 億円の使い道を市民 1 人当たりに換算してみました。

## 市民 1 人当たり 約 57 万 7 千円の使い道

○子育て支援や高齢者の医療など福祉の充実に  
約 22 万 1 千円



○区画整理や道路、公園などの整備に  
約 5 万 2 千円



○教育の振興に  
約 3 万 5 千円



○商業・観光・農林水産業の振興に  
約 12 万 4 千円



○市債の返済に  
約 4 万 8 千円



○消防・救急に  
約 1 万円

○環境や衛生の向上に  
約 4 万 1 千円



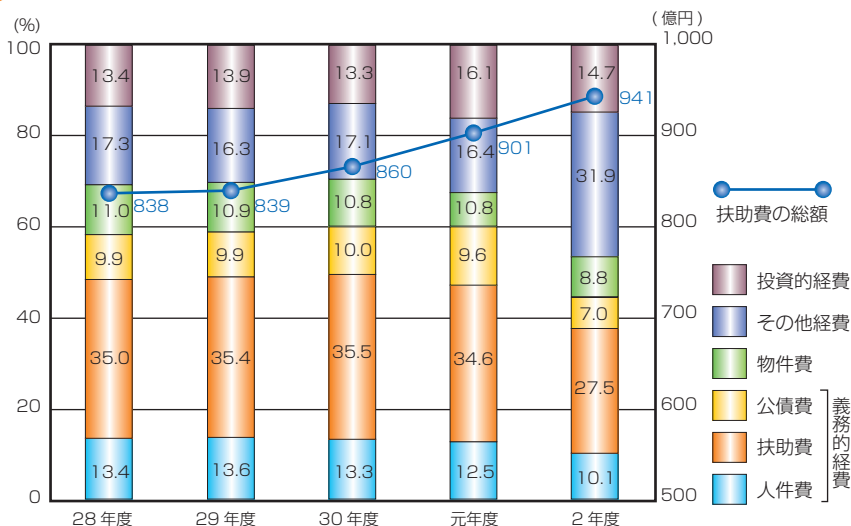
○市の運営などに  
約 4 万 6 千円



(特別定額給付金事業を含む)

## 歳出決算（性質別）の推移（普通会計）

扶助費は年々増加



### 【歳出決算のポイント】

生活保護や子育て支援、高齢者の医療などの扶助費が、前年度に引き続き増となっています。2年度決算では、全体の27.5%を占めています。また、特別定額給付金事業により、その他経費の割合が大きくなっています。

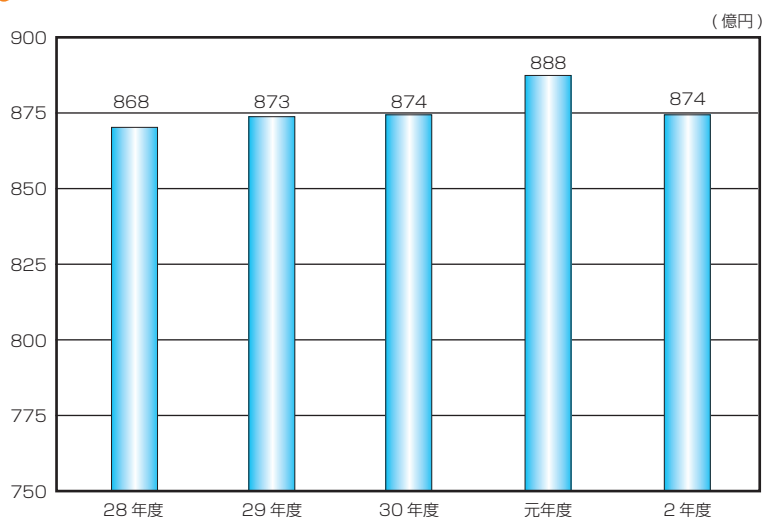
#### ■用語メモ

「普通会計」とは、各市町村の決算状況を統一的に比較するために地方財政統計で用いられている会計区分です。

鹿児島市では、一般会計のほか、土地区画整理事業清算、地域下水道事業、母子父子寡婦福祉資金貸付事業の3特別会計を合わせたものです。

## 市税の推移

2年度は前年度より14億円減少



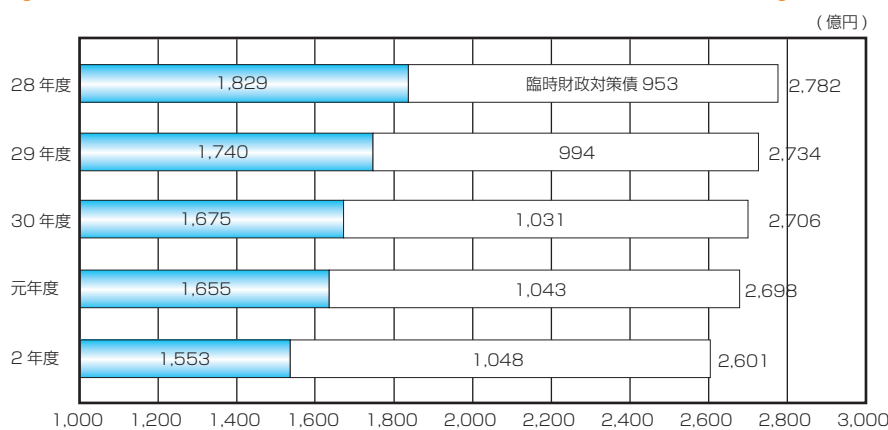
### 【市税のポイント】

市税は鹿児島市のまちづくりを行うための最も重要な財源で、市民税や固定資産税、都市計画税などがあります。

2年度決算は、法人市民税が減少したことなどにより、前年度より14億円減の874億円、歳入全体に占める割合は24.8%となりました。

## 市債残高の推移

実質的な残高は減少傾向



(1) グラフの右部分は実質的な地方交付税である臨時財政対策債です。

(2) 左部分は臨時財政対策債を除いた残高です。

### 【市債残高のポイント】

市債は、道路や公園などを整備するにあたり、将来の市民の皆さまにも公平に費用負担をしていただくため、また、返済時に国から地方交付税が配分される観点から発行しました。

臨時財政対策債を除く実質的な市債残高は、1,553億円となりました。

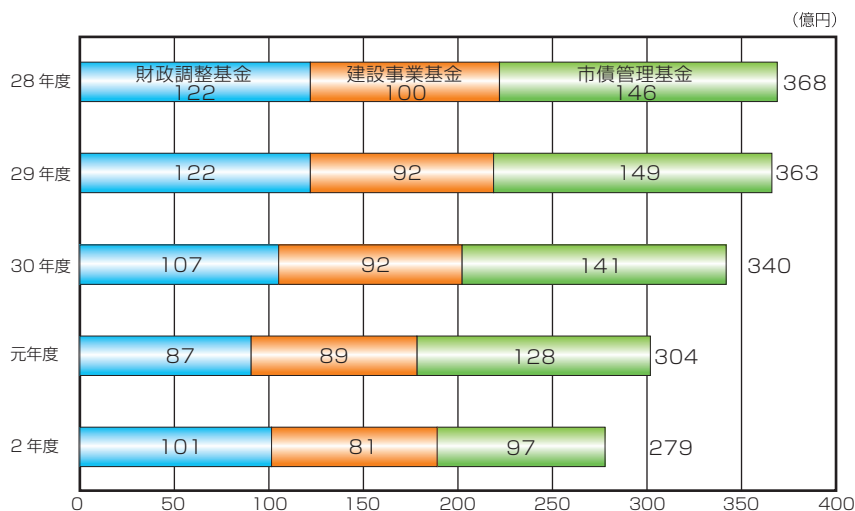
(市民1人当たり26万円となりました。)

#### ■用語メモ

「臨時財政対策債」とは、本来は地方交付税として、国から配分されるお金を国の財政上の都合で市が借りているものです。返済はすべて国の負担です。

## 基金残高の推移

2年度は前年度より25億円減少



### 【基金残高のポイント】

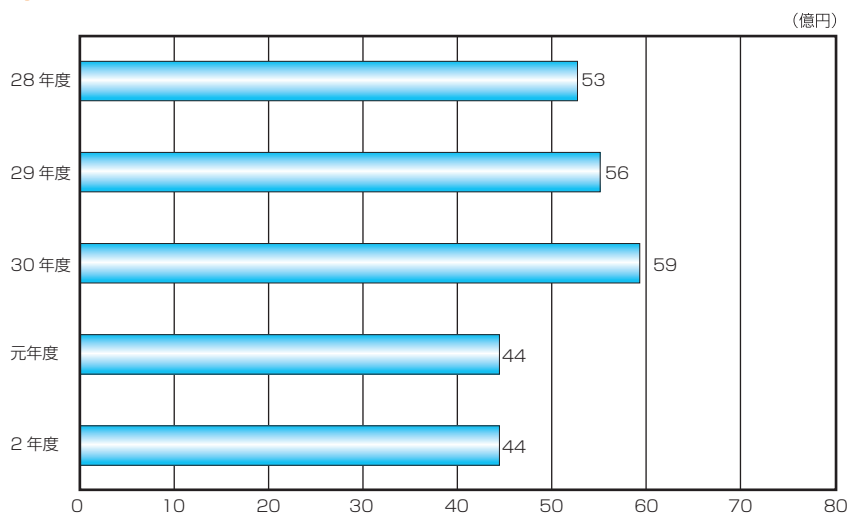
基金は、一般家庭の貯金に相当するもので、左の3基金については、必要に応じて積立てや取崩しを行っています。

この3基金は、少子高齢化、人口減少、社会保障関係経費の増加、公共施設等の適正管理、災害などに対処していくために必要な財源です。

2年度の残高は、前年度から25億円減少し、279億円になりました。(市民一人当たり5万円となりました。)

## 実質収支の推移

2年度は44億円の黒字を確保



### 【実質収支のポイント】

事務事業のしゅん別や見直し、経費の効率的な執行を行ったほか、可能な限りの財源の確保に努めたことなどにより、2年度決算では、44億円の黒字額を確保し、引き続き、健全財政を維持することができました。

#### ■用語メモ

「実質収支」とは、その年度の決算で、収支が赤字か黒字かを示す指標で、歳入と歳出の差引額から、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額をいいます。

## 令和2年度決算のまとめ

本市の2年度決算は、経費支出の効率化等により前年度並みの黒字を確保した一方で、基金残高が減少しましたが、健全な財政運営を維持する中で、さまざまな施策を積極的に推進し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会経済活動の両立及び市勢の発展に努めました。

引き続き同感染症への対応や今後見込まれる社会保障関係経費の増大など、財政状況は、厳しさを増していくと思われますが、可能な限り、各面からの財源を確保し、事業のしゅん別や見直しを行い、健全な財政運営に努めていきます。

★鹿児島市の予算や決算の状況は、市ホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/>

(【トップページ】→【市政情報】→【予算・決算・財政】→【財政状況】)



# 健全化判断比率と資金不足比率

※毎年度、「健全化判断比率」と「資金不足比率」を公表しています。

## ● 健全化判断比率

### 【健全化判断比率のポイント】

市の財政の健全度を測る指標で、基準を超えた場合、計画を定めて財政対策に取り組むこととなります。  
すべての項目で、早期健全化基準内となっています。

| 4指標           | 内 容                                      | 2年度決算（速報値）       |                      | 早期健全化<br>基準<br>(イエロカード) | 財政再生<br>基準<br>(レッドカード) |
|---------------|------------------------------------------|------------------|----------------------|-------------------------|------------------------|
|               |                                          |                  | 中核市順位                |                         |                        |
| 実 質 赤 字 比 率   | 一般会計などの実質赤字の比率                           | —                | —                    | 11.25%                  | 20.0%                  |
| 連結実質赤字比率      | 全会計の赤字や黒字を合算した実質的な赤字の比率                  | —                | —                    | 16.25%                  | 30.0%                  |
| 実 質 公 債 費 比 率 | 借入金（地方債）の返済額やこれに準じた額の大きさを示す比率            | 3.0%<br>(2.5%)   | 15位/60市<br>(11位/58市) | 25.0%                   | 35.0%                  |
| 将 来 負 担 比 率   | 一般会計などの地方債や将来支払う可能性がある負担などを加味した実質的な負債の比率 | 37.3%<br>(30.0%) | 30位/60市<br>(25位/58市) | 350.0%                  |                        |

※（ ）内は元年度決算

## ● 資金不足比率

### 【資金不足比率のポイント】

公営企業会計の財政の健全度を測る指標で、基準を超えた場合、計画を定め、経営改善に取り組むこととなります。  
2年度決算では、昨年度に引き続き、資金不足が生じている会計はありません。

| 公営企業会計                          |                                     | 2年度決算    | 経営健全化基準 |
|---------------------------------|-------------------------------------|----------|---------|
| 病院事業<br>交通事業<br>水道事業<br>工業用水道事業 | 公共下水道事業<br>船舶事業<br>中央卸売市場<br>桜島観光施設 | —<br>(—) | 20.0%   |

※（ ）内は元年度決算

## ～「かごしま市決算のあらまし」の作成に当たって～

60万市民の皆さまからお預かりした大事なお金。

市民と協働のまちづくりを進めていくために、大切に使わせていただきました。

これからの「予算」だけでなく、取組の成果である「決算」を見やすく、わかりやすくお伝えし、あすの鹿児島市につなげていくために「令和2年度決算のあらまし」を作成しました。

市政の主役である市民の皆さまのさまざまなご活躍を、健全財政の維持と創意工夫を凝らした行財政運営で、これからも支えてまいります。

## 令和2年度決算のあらまし

編集／発行：鹿児島市財政課

〒892-8677 鹿児島市山下町11-1 ☎099-216-1155

リサイクル適性の表示：紙ヘリサイクル可